

人材活躍支援サービス『エンカレッジ』 2017年度 役職別人気講座ランキングを発表

管理職は「部下に対する指摘力」、一般社員は「指示の受け方・報告の仕方」が第1位

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社:東京都新宿区、代表取締役社長:鈴木孝二）は、評価リンケージ型社員教育サービス『エンカレッジ』（<https://en-college.en-japan.com/>）の2017年度役職別人気講座ランキングを発表いたします。本ランキングは社会で求められている教育研修ニーズを測るために2013年度から発表しており、今年で5回目です。管理職は部下との関わり方や指導法と生産性の最大化、一般社員は基礎的なビジネススキルの習得と業務効率アップ策がランクインしました。以下、詳細をご報告いたします。

■ 管理職の人気講座ランキング TOP10

1位	部下に対する指摘力 ～言いにくいことを伝える方法～
2位	コーチングの基本 ～信頼関係を築くためのスキル編～
3位	ビジネスコミュニケーション ～分析ツールを用いた自己理解編～
4位	目標を必ず達成する人の考え方 ～目標必達の原動力となる2つの要素～
5位	個別ノウハウを標準化するヒント ～できる部下のみに依存しない仕組みづくり～
6位	コーチングの基本 ～自発的な行動を促すスキル編～
7位	ビジネスコミュニケーション ～他者理解と効果的な関わり方編～
8位	ロジカルな問題解決方法 ～問題分析編～
9位	部下との信頼関係づくり ～スキルやテクニックの前に身につけること～
10位	ロジカルエクスプレッション ～論理的表現力の強化法～

※集計期間：2017年4月1日～2018年2月28日

解説



管理職は、生産性最大化とともに 部下との関わり方や指導法を見直し、離職防止へ。

エンカレッジ ファシリテーター 横田昌稔

管理職の2017年度ランキングで特徴的なことは「個別ノウハウを標準化するヒント」が初ランクインしたこと。「働き方改革」が叫ばれる中、限られた労働時間での生産性向上が管理職の重要なミッションに。能力が高い部下に依存せず、組織全体のパフォーマンスの底上げが肝要。属人的な成果の上げ方や業務の進め方を脱却し、標準化することが上司に求められていると推察される。

もう一つ特徴的な点は、昨年に続き、部下とのコミュニケーションや指導法の講座が大半を占めた点。「部下に対する指摘力」「コーチングの基本」がランクアップ。「部下との信頼関係づくり」は初ランクインとなった。求人倍率上昇に伴い、企業の新規採用は難航。一方、社員にとってはキャリアの選択肢がひろがっており、転職が容易に。適切な部下指導やフォロー実施により、社員を繋ぎ止めることも管理職に期待されている。

■ 一般社員の人気講座ランキング TOP10

1位	指示の受け方・報告の仕方 ~コミュニケーションのズレをなくすヒント~
2位	仕事で注意すべき言葉遣い ~避けたい表現・適切な表現~
3位	ビジネスEメールの基本
4位	タイムマネジメント ~成果をあげるための時間と業務の管理術~
5位	ビジネスコミュニケーションの基本 ~率直に伝えて信頼関係をつくるための技術~
6位	仕事の段取り・組み立て方 ~計画の立て方と優先順位のポイント~
7位	ビジネスコミュニケーション ~分析ツールを用いた自己理解編~
8位	他者の上手な活用方法 ~周囲の人に気持ちよく協力してもらうために~
9位	目標を必ず達成する人の考え方 ~目標必達の原動力となる2つの要素~
10位	ビジネスコミュニケーション ~他者理解と効果的な関わり方編~

※集計期間：2017年4月1日～2018年2月28日

解説



採用人数の拡大で、研修をアウトソースする企業が増加。一般社員は、タイムマネジメントや他者への協力の仰ぎ方を学び、業務効率アップを狙う。

エンカレッジ ファシリテーター 横田昌稔

一般社員の2017年度ランキングで特徴的なことは、昨年同様、基礎的なビジネススキルを学ぶ講座が大半を占めた点。景気の上向きによって、新規採用が活発化。採用人数の拡大を図った企業では、新入社員への教育コストが増加。以前までは限られた人員で行っていた教育も、外部研修を活用しアウトソースする傾向へ。研修に割く人員や時間の更なる縮小を狙った、企業の意向がうかがえる。

去年はランク外だった「タイムマネジメント」「他者の上手な活用方法」もランクイン。「働き方改革」を背景に、企業は労働時間を削減しながらも、業績の最大化を追求する傾向へ。成果に対する、社員一人ひとりへの要望度もさらに高まっている。一般社員に時間の使い方や他者との協業方法の習得を後押しして、業務の効率性アップを加速させたい企業の狙いが読み取れる。

【調査概要】

- 調査対象：評価リンケージ型社員教育サービス『エンカレッジ』受講者
- 調査対象期間：2017年4月1日～2018年2月28日
- 調査対象者：管理職のべ10,548名、一般社員のべ19,127名



エンカレッジ



エンカレッジ
en-college

<https://en-college.en-japan.com/>

『エンカレッジ』は2010年1月からスタートした評価
リンケージ型社員教育サービスです。通学型とe-ラーニ
ング型の研修講座を提供し、これまでに約1700社の企
業、23万名を超える方が300種類以上の講座を受講し
ています。「その場限りではなく、行動変容や企業の活
性化・業績向上につながる教育」を目指して、参加企業
の支援を行なっています。

エンカレッジでは、今後も教育のための教育に終わらせることなく、受講後の一人ひとりの行動変容、そし
て組織の活性化、業績向上につながるような実効性のある教育支援に取り組んでまいります。

本ニュースリリースに関する問合せ先

広報担当：森本、松田

<https://corp.en-japan.com/>

エン・ジャパン株式会社

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL : 03-3342-4506 FAX : 03-3342-4507 MAIL : en-press@en-japan.com